

〒037-0305

青森県北津軽郡中泊町中里亀山540-8

TEL : 0173-57-2001

FAX : 0173-57-4929

E-mail : t\_gijyutu\_c@maff.go.jp

### 平成30年度の東北森林管理局森林・林業技術交流発表会

【増田森林技術専門官】



平成30年度東北森林管理局森林・林業技術交流発表会が平成31年1月31日（木）、2月1日（金）の両日、秋田市にぎわい交流館Au（あう）で開催されました。

この発表会は管内東北5県（福島県を除く）の民有林と国有林が一体となった森林・林業・木材産業の技術の普及・向上及び関係者の技術交流推進への寄与等を目的として、森林・林業等に係る技術開発や地域において実践している林業活性化への取り組みなどの情報提供や意見交換を行うため、毎年開催しているものです。

今年も局・署等のもとより、県・高校・大学など幅広い機関から33課題の発表がありました。

当センターからは森林技術部門において森林技術専門官が「増川ヒバ施業実験林におけるヒバ成長経過」と題して発表を行い、ヒバ小径木林における間伐効果、ヒバ成長経過について報告しました。

【増田森林技術専門官】

### 平成30年度国有林野事業技術開発委員会技術開発部会

平成31年2月13日（水）に林野庁において、平成30年度国有林野事業技術開発委員会技術開発部会が行われ、森林技術・支援センター所長、森林技術普及専門官、森林技術専門官、局技術開発企画官、局技術開発主任官が出席しました。

部会において、中間課題の「多雪寒冷地における大苗植栽の特性について」と「早生樹を使用した施業モデルの構築」の経過報告を行い、評価・指導のコメントをいただきました。

委員の皆様からの指導を反映させた課題開発に取り組んでいきたいと考えております。

【増田森林技術専門官】



# 青森県森林・林業・木材関係技術発表会



平成31年2月8日（金）に青森市にあるアピオあおもりにおいて、青森県と（地独）青森県産業技術センター林業研究所主催による平成30年度青森県森林・林業・木材関係技術発表会が行われました。この発表会は青森県内で活動する森林・林業・木材関係者が研究成果、活動内容及び関連技術を発表し、お互いの研鑽と技術向上を図るとともに、県内への普及を図り、もって森林・林業及び木材関連産業の発展に貢献することを目的として、毎年実施しています。

当日は10課題の研究発表があり、当センターからは今年も1課題発表しました。今年、青森県を代表するヒバの林分の間伐の際、施業の参考になればと思い「増川ヒバ施業実験林におけるヒバの成長経過」について、森林技術専門官が発表を行いました。ヒバ小径木林を保育間伐する場合、相対照度10%程度の間伐では効果がないことなどを報告しました。【増田森林技術専門官】



## 森をさんぽ

増田です！



森林技術専門官  
増田 悠介

今年は亥年です。西日本ではイノシシによる農作物等の被害が深刻になっています。一方、東北でイノシシは空白域とされていますが、江戸時代には東北でもイノシシが生息していました。イノシシは1冬あたり積雪30cm以上の日数が70日以上になると生息が難しいと考えられていましたが、実は近年、東北地方でもイノシシの目撃情報が相次いでいます。

青森県では深浦町などで目撃されていましたが、今年2月に津軽半島中南部の国有林でも目撃されました。このことから、下北半島を除く青森県全域でイノシシが目撃されても不思議ではありません。今後、青森県でも農産物等や林道の被害が懸念されることから、イノシシの動向を注視していく必要があります。

【国有林内で目撃されたイノシシ】 →



## ☆☆ お世話になりました ☆☆

★ 4月1日付人事異動（内示）

三陸中部森林管理署署長へ

小笠原 孝（所長）



## ☆☆☆☆☆☆☆☆

### ☆編集後記☆

今年の冬は少雪で雪かき回数も少なく終わりました。さて、30年度も「技術開発課題」に取り組むに当たり、ご協力いただいた関係各位の皆様ありがとうございましたm(L)~m  
31年度もよろしくお願いいたします。